

## 今日のトピック 日本の対内証券投資（2016年6月）

# 外国人の日本株売りペースダウン、株主還元姿勢に注目

### ポイント1 6月の外国人株式売り越し 中長期債も売り越し

#### 【対内証券投資】

- 財務省が7月8日発表した6月の対内証券投資によると、外国人投資家（以下、外国人）による日本への株式投資は4,342億円の売り越しでした。英国の欧州連合離脱選択や円高加速による日本企業の業績懸念などが響いたと見られます。
- 一方、6月の日本への中長期債投資は9,973億円の売り越しでした。2014年の夏以降、外国人の中長期債への大幅な買い越しが続きましたが、6月は利益確定の売りが入ったようです。

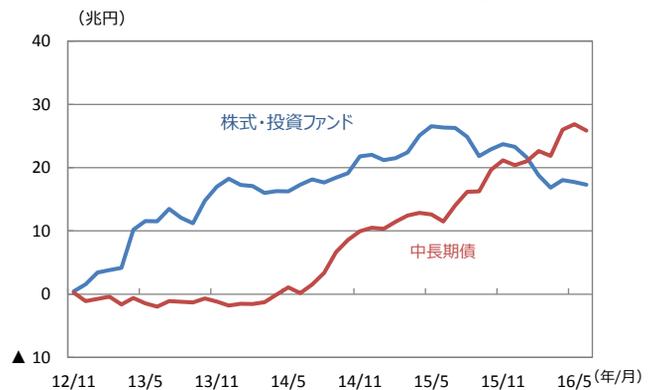
	2016年6月		(億円)
	ネット	取得	処分
株式・投資ファンド	▲ 4,342	422,913	▲ 427,254
中長期債	▲ 9,973	84,125	▲ 94,098
短期債	8,875	199,420	▲ 190,546

(注1) データは2016年6月。  
(注2) 四捨五入の関係で合計が合わない場合があります。  
(出所) 財務省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### ポイント2 日本株から国債にシフト 日本株売りはペースダウン

#### 【外国人の買い越し額累積】

- アベノミクス相場が始まった2012年11月以降の外国人の買いから売りを引いたネット金額の累積は、日本株が約17.3兆円なのに対し、中長期債は約25.9兆円です。昨年6月を境に、日本株が売り基調となる一方、日本国債の買い基調は続き、資金シフトが起こっていることがうかがえます。
- 足元では日本株の売り越し額は1-3月に比べて少なくなっており、売り圧力の低下が見られます。



(注) データは2012年11月～2016年6月の月次のネット金額の累積額。  
(出所) 財務省のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

### 今後の展開 外国人復活のカギは景気回復と株主還元姿勢か

- 外国人が日本株売り越しに転じたのは、アベノミクスが期待通りの成果を上げていないことへの失望が原因と見られます。日本株は世界景気に敏感な製造業企業を数多く含んでいるため、世界経済の回復期待の揺らぎも、売りの要因になった模様です。
- また、このところ改善したとはいえ、欧米企業に比べて見劣りする日本企業の株主還元姿勢にも満足していない可能性があります。外国人が日本株に再び目を向けるのには、世界や日本の景気回復に加え、日本企業の株主還元姿勢もカギとなりそうです。

**ここもチェック!** 2016年6月30日 日本の株式市場 日本株式市場を巡る環境を整理  
2016年6月28日 日本株式市場の現状と今後の見通し

■ 当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■ 当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■ 当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■ 当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■ 当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■ 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■ 当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。